

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4091800104		
法人名	社会福祉法人 幸友会		
事業所名	グループホーム「ひより」		
所在地 (電話番号)	福岡県飯塚市上三緒字神田1番11 (電話) 0948-21-7500		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成21年7月24日	評価確定日	平成21年9月10日

【情報提供票より】(平成21年7月事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費(19,000円)	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,100 円	

(4) 利用者の概要 (7月 現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	2 名		
年齢	平均 84 歳	最低	73 歳	最高	104 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	梶原内科医院・越智外科胃腸科医院・ユーアイ西野病院・しもみお歯科・さくら歯科・あおぞら整形
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「ひより」は、小高く見晴らしの良い場所に位置しており、広い敷地の中で、小規模多機能施設との一体的な運営がなされている。入居者の方の自宅へ、多くの入居者の方々が梅ちぎりに出かけ収穫を楽しむなど、自然にふれながら外出を楽しむ機会も多く、訪問当日にはとても美味しい「梅ゼリー」が食卓を飾っていた。昨年より職員の出産が重なっており、代表者・管理者のともに喜ぶ姿勢と復職に向けての支援体制、職員の「またここで働きたい」という言葉がとても印象的であり、働きやすい職場環境づくりが実践されている様子をうかがい知ることができた。開設して3年目を迎え、課題も明確になってきており、今後の取り組みが楽しみなグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価以降、調理担当職員の配置により、入居者とのふれあう時間を大切に過ごすことで、長谷川式スケールでの評価が改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価作成は管理者によって行なわれており、今後は職員全員で評価の機会を積極的に活かしていく取り組みに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	併設する小規模多機能施設との合同で、2ヶ月に1回定期開催されている。評価結果やホームの状況等について報告を行い、地域との交流について意見交換がなされている。今後は職員の積極的な参加にも期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	重要事項説明書にホームの相談・苦情窓口、及び市町村等の相談・苦情窓口を明記している。日頃から家族とのコミュニケーションを大切にしながら、意見を言いやすい関係づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	公民館で開催される「地域いきいきサロン」に参加し、交流の機会となっている。地域の高校の職場体験や実習を受け入れている。白山神社の祭りの際には、ホームへ獅子舞の巡行があり、また花火大会の見物場所として、ホームの駐車場を地域住民へ開放している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	法人として「家庭的で尊厳ある生活・楽しみと安心な生活・地域社会とのつながり」という地域密着型サービスの役割りを踏まえた理念を掲げている。今後はグループホームとしての独自の理念を創り上げていく取り組みにも期待したい。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	朝礼時に、入居者も参加して唱和している。共用空間の目に付きやすい場所に掲示し、理念を礎として介護計画作成・支援となるよう取り組んでいる。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	公民館で開催される「地域いきいきサロン」に参加し、交流の機会となっている。地域の高校の職場体験や実習を受け入れている。白山神社の祭り際には獅子舞の巡行があり、また花火大会の見物場所として、ホームの駐車場を地域住民へ開放している。		町内会への加入を検討している。事業所として更に地域との交流や活動参加を模索しており、関係者との連携等により、今後も継続した取り組みに期待します。
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	今回の自己評価作成は管理者によって行なわれている。評価結果はスタッフ会議にて検討し、改善に向けて取り組んでいる。		自己評価作成に職員全員で取り組むことにより、日々の支援に対する振り返りの機会にもなり、新たな気づきにも繋がると考えます。今後の取り組みに期待します。
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	併設する小規模多機能施設との合同で、2ヶ月に1回定期開催されている。評価結果やホームの状況等について報告を行い、地域との交流について意見交換がなされている。今後は職員の積極的な参加にも期待したい。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	介護相談員の受け入れを2ヶ月に1回、3時間行なっている。小規模多機能施設との一体的な運営となっており、市町村担当者との密な連携に努めている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	現在、権利擁護に関する制度を活用している入居者がおり、関係者と情報交換を行ないながら支援している。今後も職員の学ぶ機会を確保しながら、知識を深めていきたいと考えている。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	2、3ヶ月に1回、会報「ひより」を発行し、理念や行事の様子、日々の暮らしの状況などを写真付きで紹介している。請求書送付時には、担当職員による「手紙」を毎月送付している。受診後は電話や受診報告書にて健康状態を報告している。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	重要事項説明書にホームの相談・苦情窓口、及び市町村等の相談・苦情窓口を明記している。日頃から家族とのコミュニケーションを大切にしながら、意見を言いやすい関係づくりに努めている。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	担当者制を採用しながらも、事業所全体として馴染みの関係づくりに努めている。職場環境の整備等により、離職が最小限となるよう努力している。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の採用にあたっては、性別や年齢等による排除は行なっていない。入居者に対する気持ちを重視して採用している。職員の出産が重なっているが、代表者・管理者はともに喜び、また職員とアリングからは復職の意思が明確であった。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	朝礼やスタッフ会議において、入居者の人権について話をしている。高齢者虐待防止に関しても、スタッフ会議等において、学ぶ機会を持っている。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	職員の能力や経験に応じて、外部研修の参加や資格取得を促し、支援している。また研修報告により、情報を共有している。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	系列のグループホームとの連携・交流を検討中である。代表者・管理者だけでなく、職員間の交流にも期待したい。		行政等の協力を得ながら、地域でのネットワークづくりや情報交換、職員交流等、サービスの質の向上に向けての取り組みにも期待します。
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	訪問や体験入居、また併設する小規模多機能施設を活用しながら、馴染みの関係づくりに配慮し、安心してサービスが利用できるよう支援している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	野菜や花作り、キムチの作り方や手芸など、人生の先輩である入居者の方々に教えてもらうことも多い。また昨年からの職員の出産が重なり、入居者より励まされたりアドバイスを受けている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	担当者会議で、本人・家族の意向の確認を行なっている。詳細なアセスメントが実施されているが、ADLに関する記述が多い。		入居者一人ひとりの生活歴や趣味等の把握、職員間の気づきの集約等により更に本人の全体像に近づき、また介護計画作成に活かしていく取り組みにも期待します。
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人・家族との話し合いを行いながら、ケア会議を開催し、介護計画を作成している。今後のアセスメントの充実により、グループホームの特性を活かした、更に個別・具体的な介護計画作成にも期待したい。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	3ヶ月に1回、担当者会議を開催し、日々の支援経過記録とモニタリングにより、見直しを行なっている。状況の変化があった場合には、随時見直している。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援	併設する小規模多機能事業所との連携により、馴染みの環境づくり等に柔軟な支援が行われている。家族の状況により、受診の支援・買い物等に柔軟に対応している。		
		本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援	本人・家族の希望するかかりつけ医を尊重し、受診の支援を行っている。また協力医療機関との連携により、日々の健康管理に活かしている。定期的な歯科の診療を実施している。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	入居時に家族との話し合いを行い、関係者で方針を共有している。状況の変化があった場合には、迅速に対応できるよう、協力医療機関との連携に努めている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	年長者である入居者の方々の、誇りを損なわないよう言葉掛けに注意し、職員間で確認しあいながら対応するよう努めている。記録やファイル等の個人情報については、事務所での保管・管理を徹底している。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	基本的な一日のスケジュールはあるが、入居者の希望に柔軟に対応し、その日その時間を大切にしながら支援に努めている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	厨房スタッフを専属とし、入居者と職員とのふれあいの時間を大切にしている。職員が同じテーブルで同じ食事をしている。畑で収穫された野菜や、手作りキムチなどが食卓を飾ることもある。回転寿司の出張サービスなどで「食」を楽しむ機会もある。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	基本的には週3回の入浴日を決めているが、本人の希望や健康状態により、柔軟に対応している。時には「菖蒲湯」や「みかん湯」にて入浴を楽しんでいる。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	理事長より畑の管理を任されている方、お茶をいれてくれる方、洗い物や掃除をしてくれる方、季節の野菜・土筆・ふき等の皮むきや、はかま取りを手伝ってくれる方、絵の得意な方など、個々の希望や能力により、力を発揮できる場面づくりが行なわれている。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	広い敷地内やホーム周辺の散歩に、定期的に出掛けしている。近隣の大型商業施設への買い物やドライブ、レクリエーションなど、外出の機会が多い。入居者自宅へ大勢の入居者の方々と梅を取りに出掛けるなど、柔軟な支援が行われている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	玄関脇に事務所があり、入居者が「開けゴマ」とかけ声をかけることにより(浸透している)、職員が自動ドアのスイッチを入れ開放するようになっている。近隣には民家も少なく交通量も多いことから、開設以来玄関の改造も行ないながら、試行錯誤している。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	災害対策委員会を設置し、昼夜を想定した年2回の訓練を実施している。スプリンクラーも設置予定となっている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	食事・水分摂取量を記録し、職員間で共有している。個々の状況に応じて、形態を工夫し柔軟に対応している。入居者の嗜好を把握し、少しずつではあるがメニューに反映させている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

グループホーム「ひより」

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	十分な広さを持つ共用空間には、手作りの絵や色彩あふれる作品が飾られている。大小さまざまな形態の風呂やトイレも、ゆとりある空間が確保されている。季節の花や飾り付け、旬の野菜により、季節感を感じられるよう取り組んでいる。畳スペースもあり、くつろげる空間が確保されている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	各居室には、机や筆筒などの使い慣れた物が持ち込まれており、居心地の良さに配慮している。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			